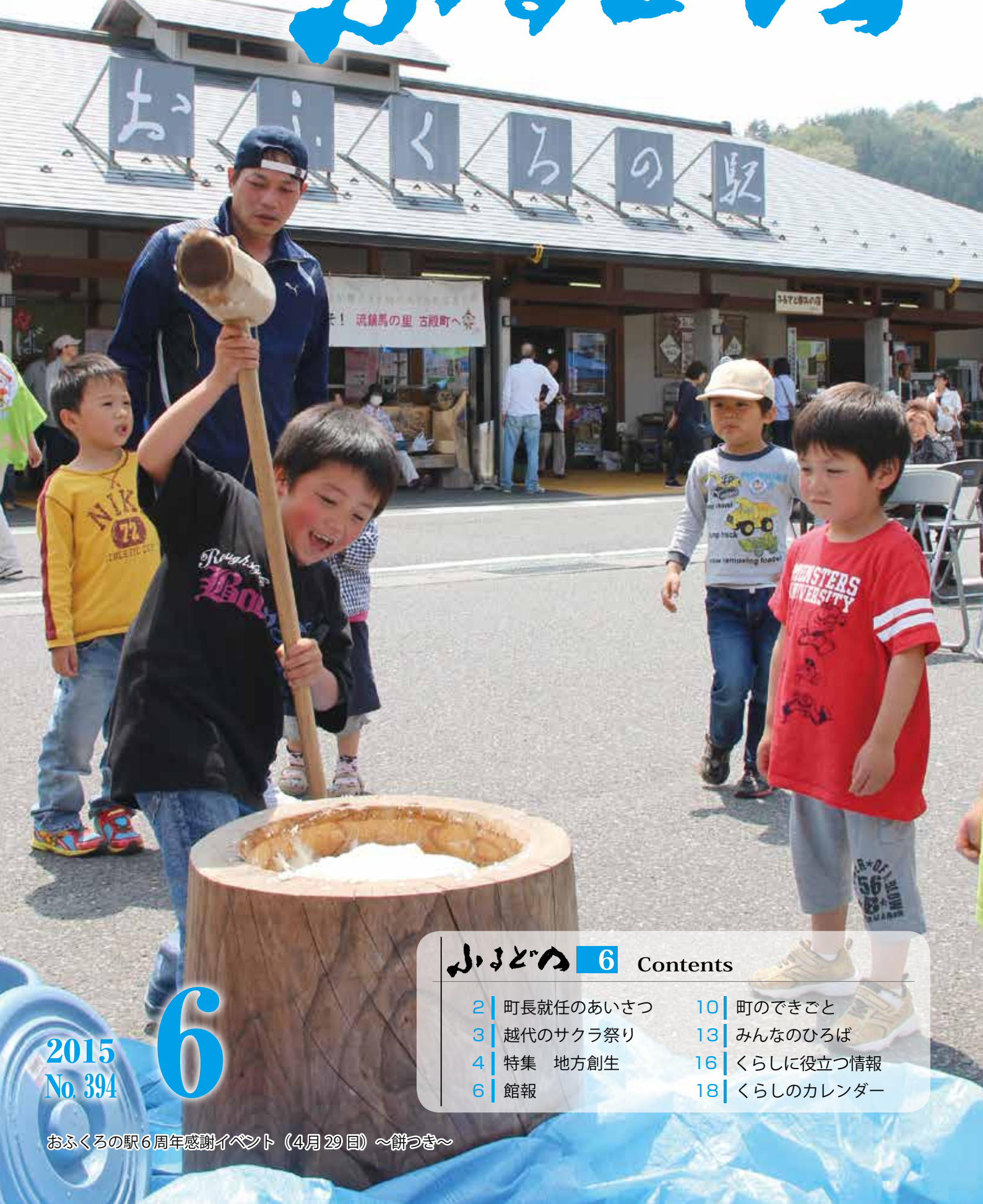


① 広報

ふふどろ



2015
No. 394

6

ふふどろ

6

Contents

- | | | | |
|---|-----------|----|-----------|
| 2 | 町長就任のあいさつ | 10 | 町のできごと |
| 3 | 越代のサクラ祭り | 13 | みんなのひろば |
| 4 | 特集 地方創生 | 16 | くらしに役立つ情報 |
| 6 | 館報 | 18 | くらしのカレンダー |

おふくろの駅6周年感謝イベント（4月29日）～餅つき～

町民の目線に立った町政運営

4期目 岡部町政スタート



町職員が出迎えるなか4期目の初登庁

任期満了に伴う古殿町長選挙は、岡部光徳氏が無投票で四期目の当選を果たしました。4月27日に佐藤憲治選挙管理委員会委員長から当選証書が付与されました。

5月1日、職員と支持者が拍手で出迎えるなか、岡部町長は決意を新たに初登庁しました。就任式では「初心を忘れず、町民目線に立って町政運営に全身全霊で取り組んでまいります」と決意を述べました。

岡部町長 4期目就任のあいさつ

この度の町長改選にあたりましては、皆様方の温かいご支援とご支持により、引き続き町政を担当させていただきますこととなりました。ここに改めて感謝と御礼を申し上げますとともにその責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

東日本大震災からの復旧・復興対応に追われた三期目でしたが、町民の皆様をはじめ、多くの関係者のご支援・ご協力により、震災直後の混乱から一定の落ち着きを取り戻すことができました。

しかしながら、コメをはじめとする農産物の価格低迷など風評被害の影響は、依然として続いておりますことから、その払しょくに向け、今後もしっかりと取り組んでまいります。

四期目の就任に当たりましては、無投票当選という町民の皆様から託された期待と信頼に応えるため、「語り合おう古殿 町民とともにつくる未来」の基本姿勢で、初心に帰り、町民の目線に立った町政、皆様との対話を大切にした町政運営に努め、町勢の発展と福祉の向上に、誠心誠意、全力を尽くす所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

当面する課題として、今年度当初予算で盛り込まれた公民館改修と町民第一体育館の整備を最優先に進め

てまいります。四期目の町政を担当するに当たっては、古殿町第6次振興計画及び過疎地域自立促進計画に基づいた諸事業の推進とともに、「①子育て支援と福祉の充実」、「②生活環境の整備」、「③地場産業の振興」、「④住民参加によるまちづくり」、「⑤教育・交流環境の整備」の5つを重要施策と位置付け、様々な事業に取り組んでまいります。

こうした中、政府は、元気で豊かな「地方の創生」を掲げ、人口減少、少子高齢化、雇用創出問題など地方が抱える課題の解決に取り組むこととしておりますが、それと同時に、地方は、生き残りをかけた「まちづくり」の手腕が問われる局面を迎えております。

古殿町としても、この機会をチャンスと捉え、町民の皆様の様々な声を聴きながら、町民と行政が手を携え、しっかりと将来を見据えた「まちづくり」に取り組んでまいります。

豊かな自然、歴史と伝統、町民同士の強い絆といった地域の資源を活かし、「緑と人が響きあう ぬくもりのあるまち・ふるどの」を創るため、進取果敢に邁進してまいります。

どうか町民の皆様には、これまで同様、特段のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

第17回

越代のサクラ祭り

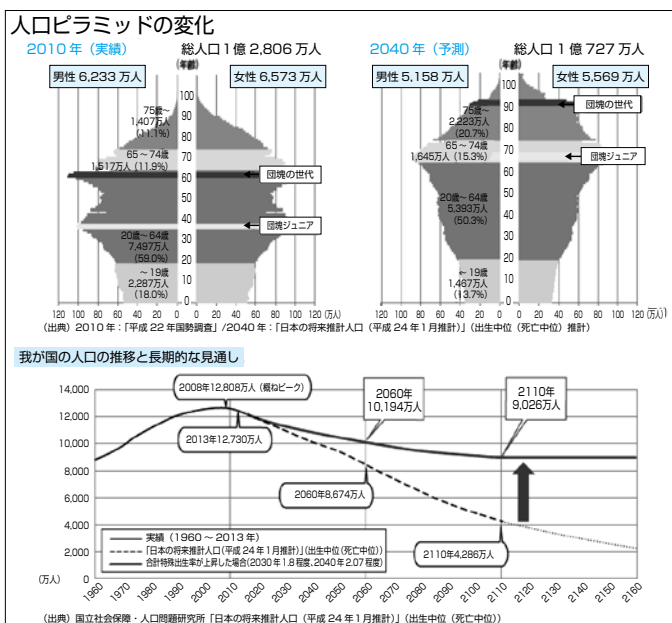


樹齢約400年を誇り、林野庁の「森の巨人たち100選」に選ばれ、県の天然記念物として指定を受けている越代のサクラ。今年は気温の高い日が続き、越代のサクラも例年より開花が早く、5月3日に開催された越代のサクラ祭りではすでに葉桜となってしまいましたが、朝早くから多くの方が訪れ、流鏝馬太鼓の演奏やフラダンス、歌謡ショー等のイベントを楽しみました。



特集 地方創生 第1回

最近、テレビや新聞などのマスコミで「地方創生」という言葉を見聞きする機会が多くなりました。これは、国・都道府県・全国すべての市区町村が「人口減少問題」に真正面から取り組むという大きな流れであり、わが町でも、今年より対策を進めていくことになっています。しかし、これは行政だけの問題ではなく社会全体で考え、答えを見つけていかなければならない難しい課題です。そこで、今回から町の取組みなどを、町民の皆さんにお知らせし、皆さんと一緒に町の将来を考えていきたいと思います。



「地方創生」ってなに？

私たちの日本は2008年から、世界でも類を見ないスピードで「人口減少時代」に突入し、今後さらに、加速度的に進行するとの推計が示されました。（上段左図参照）推計によれば、2050年には総人口が1億人を下回り、2100年には、5千万人にまで落ち込み、そのまま安定せずさらに減り続ける見込みとなっています。

人口の減少は、社会経済を疲弊させ日本の国としての存続すら危ぶまれる状況になると想像されています。

そこで、国は昨年末「まち・ひと・しごと創生法」を施行し本格的に人口減少対策に乗り出しました。この取組みを「地方創生」と呼んでいます。

では、なぜ「日本」ではなく「地方」という言葉がついているのでしょうか？

人口の減少は、まず地方から始まっています。現実にはわが町の人口は、1950年代をピークに減少の一途を辿っています（下段右図参照）。これは、高度経済成長期から始まった労働力の首都圏への流出が主な理由であり、その流れは、現在でも変わっておらず、若者は都会の魅力に引き寄せられるようにふるさとを離れています。

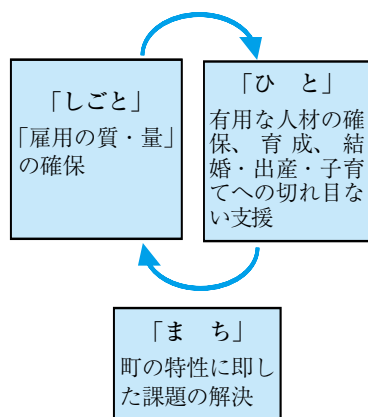
さらに人口減少のカギを握るのが出生率低下の問題です。1970年代後半よりわが国の出生率（合計特殊出生率）は急激に低下してきました。特に、多くの若者が流入する首都圏、大都市圏で出生率が低く、地方のほうが、比較的高い傾向にあります。つまり、まず地方がその地域特性を生かし、

古殿町の総人口の推移・推計



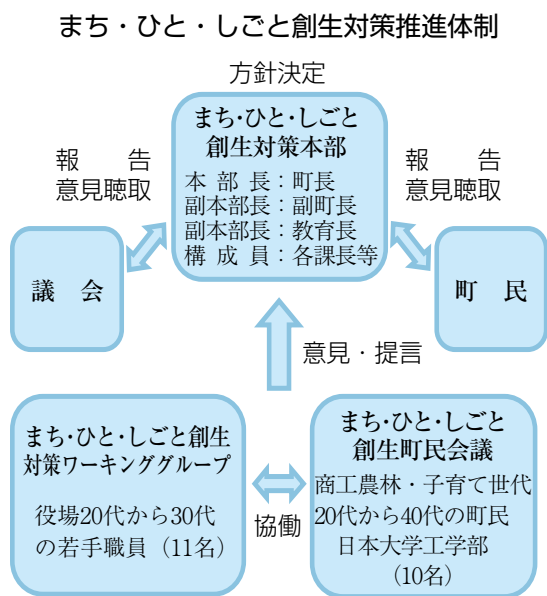
魅力と活力のある町を創出し、都会から地方へ向かう若者の流れをつくり、安心して子育てができる環境を整備し、左の図のような好循環を生むことができる。それが、将来の人口減少に歯止めをかけることができる。それが、「まち・ひと・しごと創生」地方創生」です。

「しごと」と「ひと」の好循環、それを支える「まち」の活性化



古殿町の取り組みが スタートしました

平成26年末に施行された「まち・ひと・しごと創生法」を受け、国は、日本の総人口の将来展望を示す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」(2060年に人口1億人を維持)と人口減少問題を解決するための様々な施策などを取りまとめた5か年計画「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を決定しました。これにより、平成27年度中には日本全国の都道府県・市区町村も同じく、地域の人口の現状把握と将来展望を示す「地方版人口ビジョン」と、その将来展望を実現させるための「地方版総合戦略」の策定を進めることになりました。わが町は、平成27年4月1日に町長を本部長とする「古殿町まち・ひと・しごと創生対策本部」を設置し全庁体制で創生対策を推進していきます。



まち・ひと・しごと創生町民会議 委員委嘱状交付式が行われました

平成27年5月18日、役場大会議室にて「古殿町まち・ひと・しごと創生町民会議委員委嘱状交付式」が行われました。この会議は、まち・ひと・しごと創生対策を町民と一緒に進めて議論し合う場として組織され、町内外から10名の委員が委嘱されました。式では、町長より「地方創生の名のもとに地方の手腕が試されている。一緒になって今後の町づくりに取り組んでいきたい。」とあいさつがあり、委嘱された委員たちを激励していました。委員は20代から40代の若い世代で構成され、商工農林・子育て世代・学識と幅広く組織されています。

委員紹介

氏名(しめい)・種別・所属・出身・「あいさつ」※座長・副座長・以下年齢順

座長 浦部智義(うらべともよし)・学識・日本大学工学部・小山市・「昨年から古殿町の町づくり事業でお世話になっている。よそ者の視点で考えていきたい」

副座長 有賀源内(ありがげんない)・工業・富士通テレコムネットワークス福島・仙石

区・「企業の視点で何ができるか考えていきたい。」

小平美香(おだいらみか)・農業・自営・論田区

高木和伸(たかぎかずのぶ)・工業・宇野製作所F D工場・鎌田区

野崎奈津子(のざきなつこ)・主婦・田口区・「4人の子育てをしている。親子で楽しく暮らせる町にできたらいいと思う。」

吉田智一(よしだともかず)・商業・吉田写真館・上松川区・「地元に戻ってきて友人たちが関東にいる。そういう状況を変えていきたい。」

常盤慎太郎(ときわしんたろう)・商業・マルマン醸造・竹貫区・「商業をやっていく中で町が活性化することが非常に大事。しっかり話し合っていきたい。」

渡邊洋一(わたなべよういち)・学識・日本大学工学部・須賀川市・「研究員の傍らNPOで地域づくりをやっている。古殿でも生かしたい。」

水野廣人(みずのひろと)・林業・自営・大久田区

矢内賢征(やないけんせい)・商業・豊国酒造・竹貫区・「友人たちとよく町について熱く語り合う。熱が冷めないよう全うしたい。」



地区公民館長・主事を紹介します

平成27年度第1回地区公民館長・主事会議は5月11日、町公民館で開かれ、地区公民館連絡協議会の会長に木戸久康さん（田口）が選出されました。

任期は平成27・28年度の2年間です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

館 長



仙石区
松浦 博さん



鎌田区
緑川春男さん



田口区
木戸久康さん



竹貫区
篠田弘之さん



上松川区
岡部勝伸さん



下松川区
小玉一夫さん



大久田区
水野清蔵さん



下山上区
林 廣さん



上山上区
野崎家則さん



論田区
藁谷義恵さん

主 事

上松川区	生田目太郎さん	仙石区	有賀 真道さん	大久田区	佐川 信浩さん
竹貫区	常盤 洋之さん	論田区	小平 一三さん	下松川区	鈴木 康夫さん
田口区	高久 公伸さん	上山上区	矢内 一富さん		
鎌田区	矢内 聡一さん	下山上区	緑川 修さん		

古殿町スポーツ推進委員委嘱状交付式

スポーツ推進の中心的役割を担うスポーツ推進委員の委嘱状交付式が、5月1日、町公民館で行われ、都合により減となっていた委員に、新たに1人加わりました。

大樂教育長より委嘱状が手渡された渡邊みどりさん（竹貫）は、他の推進委員とともに、町スポーツ大会などの支援を行います。任期は平成28年3月31日までです。



渡邊みどりさん
バスケットボール

《3つの運動》

1. 時間を守りましょう
2. 自然を大切にしましょう
3. あいさつをしましょう



デジカメ写真教室

デジカメ写真教室開講



5月1日、町公民館でデジカメ写真教室が開講しました。町写真コンテストなどで審査員を務めている戸井田武彦氏（郡山市）を講師に迎え、撮影ポイントや、接写の仕方などを学びました。

受講者7人は、鮫川河川敷の八重桜の花や景色、三株の桜を実際に撮影しました。どのように撮影するかの特講を受け、実際に自分のカメラを操作してみると、気づかなかった新たな発見もあり、有意義な時間になりました。

オカリナ教室開講



5月12日、オカリナ教室が開講しました。この教室は、公民館教室の中では珍しい音楽の教室です。講師には関根仁一先生（玉川村）を迎え、実際に演奏しながら基礎を学びました。

オカリナは土を焼いて作られた笛で、それほど透き通った音色が特長です。参加した14人は、先生が焼いて作ったオカリナを使って練習しました。

これから毎月第2と第4の火曜日、全10回、楽しく学んでいきます。

ゴルフ教室がスタートしました！



公民館のゴルフ教室が5月12日、グリーンアカデミー練習場（石川町）で開講しました。佐藤幸夫先生（石川町）と、斉藤勝智先生（石川町）の指導のもと22人が参加し、開講式と参加者の自己紹介を終えた後、さっそくクラブの持ち方から始めました。

これから全15回の練習で、ゴルフの基礎知識や技術、ルールを習得します。総仕上げとして、7月4日(土)にはコースでのコンペを実施する予定です。



技術やマナーを学びます



スポーツ教室合同開講式



5月8日、女性・若者等活動促進施設で公民館主催スポーツ教室の合同開講式が開かれました。ソフトボール、ミニバスケットボール、卓球、剣道、柔道の5教室で練習に励みます。途中参加も大歓迎ですので、お気軽に町公民館までご連絡ください。

5月11日、さわやかな風の吹く中、参加者20人は矢祭町の滝川溪谷に出かけました。
片道約3km、およそ2時間程度歩いて、山頂に到着しました。途中には、約48もの滝が点在し、地元ボランティアガイドの案内で景色を楽しみながら歩くことができました。



さわやか自然塾 《ハイキング》



来店する桜が丘学園・桜が丘愛生園の園児や地域の方々と語らいながら、有意義に過ごすことができました。
桜が満開の学園で、バケツや鍋などを叩いて演奏するスチールバンドなどのイベントが催され、にぎやかな園遊会となりました。

第56回園遊会（桜が丘学園）

山百合サークルの ボランティア

編さん室だより

駒ヶ城

駒ヶ城は竹貫の集落の西寄りに突き出た丘にある。東北の方向に館山の山塊につながるが、現在は尾根が削られ独立丘のようになっている。竹貫街道の西を抑えるには絶好の地である。

現在、山頂は稲荷神社の境内になっているが、主郭は広い。現在のルートは商工会からまっすぐ上がる石段と、西（宮前方向）から上る道があるが、これは後世に作られたものである。するとかつての虎口はどこにあったのか不明となるが、曲輪は東南方向にゆるく下がるので、このあたりが入口で虎口があった可能性はある。岩城志によると「東麓の龍寶寺（現子安堂）の方より登りし見ゆ」とあるので、間違いないと思われる。

北から西北にかけて帯曲輪はかなり長く、腰曲輪は北の山塊につながり、現在は谷で分断されているが、ここに堀切を入れ、駒ヶ城を独立させていたものと思われる。

竹貫城と城館群 (I)



(町史編さん室長 竹貫義英)

『八巻孝夫縄張図』のうち、駒ヶ城

第36回さわやか自然塾 《尾瀬ハイキング》

参加者募集

大群生するニッコウキスゲの、一面山吹色に咲く様子があなたの心を魅了します。

日 時 7月11日(土) 午前5時出発
午後8時頃、町公民館到着予定
場 所 沼山峠～大江湿原～尾瀬沼
往復7km、3時間のハイキング
対 象 成人
定 員 30人
参 加 費 1,000円
申込期間 6月1日(月)～6月26日(金)まで
申 込 先 町公民館 ☎53-2305

今月の図書

わたしのかさはそらのいろ

作…あまん きみこ
絵…垂石 眞子



おかあさんに買ってもらった傘は、どんな雨の日だって元気になる、晴れた日の空の色。みんな私の傘に入ると笑顔になって、あたたかくなるんだよ。

21世紀の資本

著…トマ・ピケティ
訳…山形浩生・守岡桜・森本正史



になった『21世紀の資本』。ピケティは資本主義の限界を唱えています。その裏付けとしてデータを約200年分集めて分析しました。彼の解決策は？これからの日本は？わかりやすい解説書も入館しました。併せてご覧ください。

文芸 歌友会例会作品 〓 四月例会 〓

念願のパラオ慰霊の両陛下

一万余の兵散りし島島

矢吹 和子

明日からは一人暮らしをする孫に

大事ないと背を押す夕餉

鎌田 佳子

社会人になりたての男孫が訪ね来ぬ

吾を気遣ううさ優しく

佐川 静子

八重樫の散華といわん鮮やかに

根元を埋め色の褪せゆく

我妻 慶子

体調を互に気使う両陛下

悲願遂げたる心尊し

有賀智枝子